



申込不要
入場無料

「池袋の多文化共生を考える」

—魅力ある街づくりを
共に実践する取り組み—



立教大学キャンパスのある豊島区には、25,000人の外国人が住んでおり、その半数以上を中国人が占めています。中国料理店や雑貨店が立ち並ぶ池袋駅の北西は、今では在日中国人の情報発信地となっています。急激に増えた中国人店主たちと、地元商店街の間でさまざまな葛藤がありました。時間をかけてお互いの信頼関係を構築する努力を重ねています。現在、共に池袋西口をより魅力ある街にしようとして活動する3名をお迎えし、NPOの活動などからみえてくる池袋の多文化共生について、その現状や展望をお話しいたします。

【日時】

11月15日(水)
18:30~20:30

【会場】

池袋キャンパス
8号館3階8304教室

【登壇者】

小林 俊史氏 (NPO 法人セファール池袋まちづくり理事長、「とっぴい・豊島の選択」編集長)

胡 逸飛氏 (東京国際交流協会会長、日本上海同郷会副会長)

石森 宏氏 (NPO 法人セファール池袋まちづくり常任相談役、アイポイント活動リーダー)

本学学生、教職員、一般 対象

主催:立教大学人権・ハラスメント対策センター

問合せ先:立教大学人権・ハラスメント対策センター E-mail : jinken@rikkyo.ac.jp

(池袋事務室)TEL:03-3985-3192 (新座事務室)TEL:048-471-7396

